

先ほどの伝達表彰では、多くの皆さんを表彰しました。改めて、おめでとうございます。2学期は、野球部の四国大会出場、サッカー部のeスポーツ国体出場をはじめ、各運動部・文化部、そして各種コンテスト・コンクールにおける活躍など、皆さんの活躍が数多く見られました。賞を受賞した人はもちろんうれしいと思いますが、生徒の活躍は、学校にとっても大変うれしく誇らしいことで、共に喜びたいと思います。今後も、いろいろなことにチャレンジし、自分を鍛え、高めていってほしいと思います。

話は変わりますが、今日は終業式です。2学期の始業式で私が話したことを、実践できたでしょうか。二つ話しました。一つ目は「毎日の授業に真面目に取り組む」、二つ目は「うまくいかないことがあっても、諦めることなく向かって行ってほしい」ということです。終業式の今日の日に、しっかり振り返ってほしいと思います。「反省なくして進歩なし。」

さて、今年「令和」の時代が始まり、「新しい時代の幕開け」という言葉をよく聞きましたが、その令和元年もあと10日ほどになりました。

そこで、年末年始と言えは、「1年の計は元旦にあり」です。ありふれた言葉だと思うかもしれませんが、これは、子供からお年寄りまで、人生を歩む中でとても大切なことです。皆さんも新年こそは抱負を立ててください。そのためには今年1年をしっかりと振り返ってください。

1年生は、入学当初の新しい出発で、「さあ、頑張るぞ」という気持ちは持続しているか。高校生活の目標をはっきりと持っているか。

2年生は、一般的に中だるみをしやすい学年というが、どうであったか。あと3か月で最高学年になる準備は進んでいるか。

3年生は、受験の最後の追い込みはできているか。一方、早くから内定している人は、次の新しいスタートに向け準備はできているか。気は緩んでいないか。

その上で新しい年に向かって、チャレンジする気持ちをしっかりと持ってほしいと思います。

「夢なき者に成功なし」という言葉は、幕末、維新に活躍した数多くの志士たちを輩出した松下村塾の師である、吉田松陰の言葉です。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」

令和元年度の有終の美を飾るために、新しい学年、新しい出発に向けて良いスタートを切るために、今年1年をしっかりと振り返り、新年の抱負を立ててください。

「1年の計は元旦にあり」

3学期の始業式には、全員が元気に再会できることを祈念して、終業式の式辞とします。